

漁況情報 No.6

平成 19 年 7 月 3 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

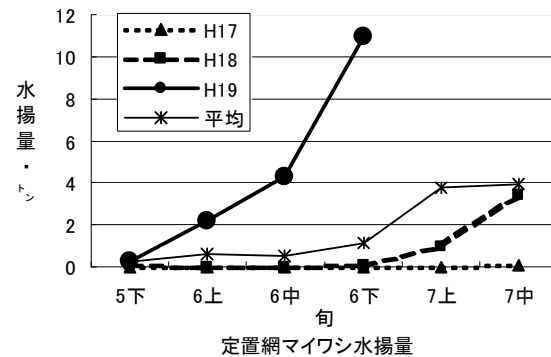
*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

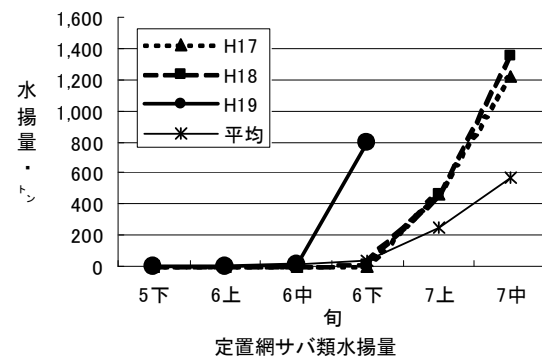
マイワシ、サバ類(定置網)の水揚げが好調です。
スルメイカ(イカ釣り)の水揚げはほぼ平年並に推移しています。

1. 水揚げ状況

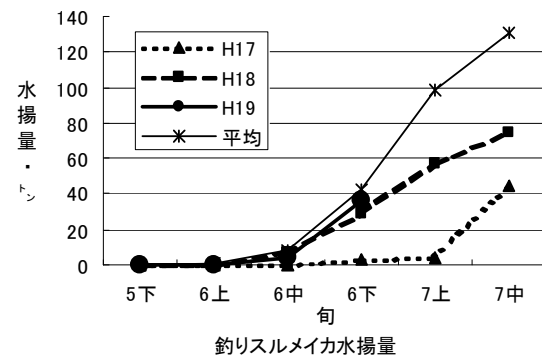
(1) マイワシ(定置網)は山田を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚げ量は10.9トン(前年同期の112倍)でした。また、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は1.1トンで、旬水揚げはその9.5倍でした。年累計は85.3トン(前年同期の330倍)です。



(2) サバ類(定置網)は釜石、大船渡を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚げ量は790トン(前年同期の5.7倍)でした。また、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は30.4トンで、旬水揚げはその26.0倍でした。年累計は814トン(前年同期の5.8倍)です。



(3) スルメイカ(イカ釣り)は久慈を中心に水揚げがあり、6月下旬の水揚げ量は36.4トン(前年同期の1.2倍)でした。また、6月下旬の過去5年間の平均水揚げ量は42.0トンで、旬水揚げはその86.6%でした。年累計は42.1トン(前年同期の1.2倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サバ類精密測定結果

6月下旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長はオス、メスともに32~35cm主体でした(図1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります。両種は体長(尾叉長、図2、A)と背びれの長さ(第1背びれ第1~第9棘基底長、図2、B)の比で判別できます。体長に対して背びれの長さが長いものがマサバ(判別指数12以上)、短いものがゴマサバ(判別指数12未満)とされています。この判別方法によると、今回測定したサバはマサバが62%、ゴマサバが38%でした(図2、サバの図はCollette and Nauen(1983)を転載)。

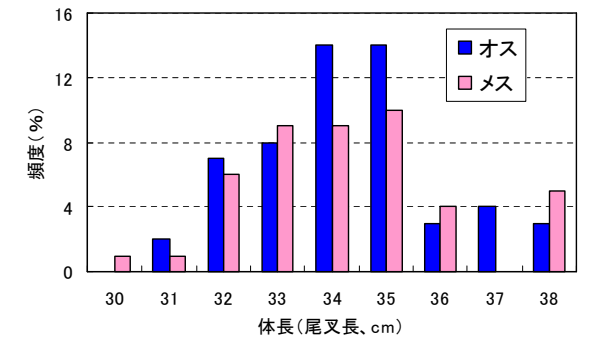


図1 サバ類体長組成

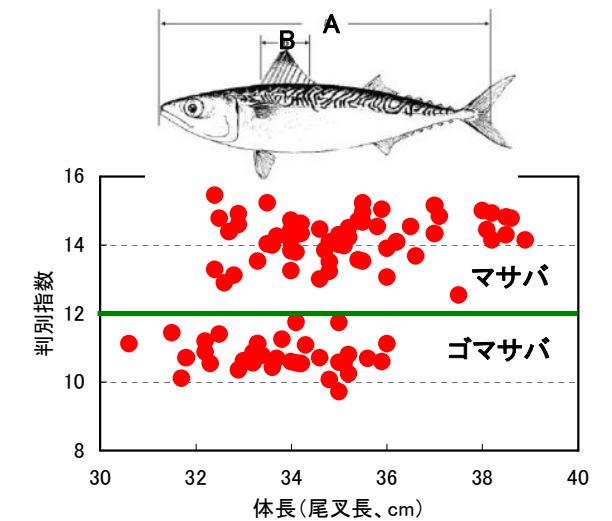


図2 マサバ・ゴマサバ判別指数

2. 調査船運航計画(7月)

	調査内容	調査期間
岩手丸	沖合定線海洋観測調査	7/2~6
	サンマ漁場一斉調査	7/9~13
	イカ類漁場調査	7/17~27
北上丸	タコ類カゴ、アイナメ延縄調査	7/2~4、/17~20
	イカ漁場調査	7/5~6、/11~13、/23~25
	仔稚魚・動物プランクトン調査	7/9~10、/26~27
	刺し網調査	7/30~31

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもお活用下さい。